

火山噴火予知連絡会会報

〈第 11 号〉

昭和 53 年 3 月

気 象 庁

火山噴火予知連絡会会報原稿提出要領

連絡会会報に掲載のため提出する原稿は、下記による。

記

1. 原稿は400字詰原稿用紙を用い、横書きにし、漢字は当用漢字、仮名は平仮名、外国語は片仮名又は原語を用いる。
2. 標題、報告者名及び図・表の説明文などは和文のみとし、欧文は付けない。
3. 図・表の挿入箇所・縮率などについて、必要あるときは原稿に赤字で指定する。
4. 参考文献は本文中では^{1), 2)}……と肩書きし、本文末尾に下の例のように文献を列記する。

(例)

参 考 文 献

- 1) 大 森 房 吉(1910): 浅間山噴火に就きて、震業報、67、1~26
- 2) Imamura, A.(1920):

5. 編集及び校正は、提出された原稿に基づき、連絡会庶務が行なう。

目 次

火山噴火予知連絡会：有珠山総合観測班の観測体制	1
北海道大学理学部：有珠山噴火後群発した地震の震央・震源分布（1977年8月～12月）	3
“：計器観測による有珠山頂火口原の地殻変動（1977年8月～12月）	8
北海道大学理学部・京都大学防災研究所： 有珠山北東麓の地殻変動（1977年8月～12月）	13
北海道大学理学部・東京大学地震研究所： 1977年有珠山噴火の熱学的調査（1977年8月～12月）	21
北海道大学理学部地質学鉱物学教室：1977年有珠山噴火の推移と噴出物	29
“：1977年有珠山噴火に伴った火口原の地形変化	38
国土地理院：有珠山周辺の水準路線測量	45
気象庁火山機動観測班・札幌管区气象台・室蘭地方气象台： 有珠山噴火に伴う地震活動と地震のEnergy	47
東京大学地震研究所：有感地震を主とした有珠山の地震観測概報	55
東北大学理学部：有珠山噴火に伴う地震波放出エネルギーの推移	59
気象研究所地震火山研究部：有珠山における航空温度測定及び光波測量	63
気象庁地震課火山室：全国の火山活動状況	73
第10回連絡会議事録	89
緊急幹事会議事録	92
有珠山総合観測班議事録	97
連絡会庶務メモ	102

「本書に掲載した地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図及び5万分の1地形図を複製したものである（承認番号）昭53総複、第326号」